

令和 7 年第 2 回市議会定例会（6 月）

#####

会派代表質問・一般質問の要旨

#####

発 言 者

ページ

会派代表質問

1. 高 志 会	17番	高 橋 信 雄 議員	・・・	1
2. サ キ ホ コ レ	15番	正 木 修 一 議員	・・・	3
3. 市 民 の 窓 口	6番	松 本 学 議員	・・・	5

一 般 質 問

1. 高 志 会	19番	高 橋 和 子 議員	・・・	6
2. 日 本 共 産 党	13番	佐々木 隆 一 議員	・・・	7
3. 市 民 の 窓 口	5番	大 友 孝 徳 議員	・・・	8
4. 立 憲 民 主 党	3番	栗 野 希 穂 議員	・・・	9
5. 無 所 属	2番	橋 島 達 也 議員	・・・	10
6. 高 志 会	7番	佐 藤 義 之 議員	・・・	11
7. 高 志 会	9番	小 松 浩 一 議員	・・・	12
8. 無 所 属	1番	阿 部 十 全 議員	・・・	13
9. 公 明 党	4番	佐 藤 正 人 議員	・・・	14
10. 高 志 会	10番	泉 谷 赳 馬 議員	・・・	15

1. 令和7年度予算について

(1) 令和7年度予算と財政課題について

(2) 骨格予算と肉付け予算案について

2. 若者・女性の地域定着回帰と切れ目のない子育て支援について

(1) 就業の場の確保について

(2) 妊産婦、子育て支援について

(3) 学童保育について

3. 大型プロジェクトによる関係人口の拡大と地域経済の活性化について

(1) 一番堰まちづくりについて

(2) 観光振興について

(3) 農業対策と林業・林産業の活性化について

(4) ゼロカーボンシティについて

4. 市民ひとりひとりが、住み慣れた地域で心豊かに安全安心に暮らせるまちづくり

(1) 行政サービスの質の維持について

(2) 災害対策について

5. 教育課題について

(1) 統合小学校の準備について

(2) コミュニティ・スクールと地域とのかかわり

(3) 公民館・図書館・資料館と地域づくりの拠点について

6. 水道事業・下水道事業の更新事業と持続可能性について

(1) 既存管更新の計画と長寿命化、持続可能性について

(2) 安定供給と維持管理費の軽減、利用料金の今後について

1. 財政状況について

(1) 財政調整基金について

(2) 実質公債費比率の推移について

2. 若者・女性の地域定着回帰について

(1) スキルと学びを活かせる環境整備について

(2) 移住定住、県と連携した施策について

3. 大規模プロジェクトによる地域の活性化について

(1) 鳥海ダムと周辺観光の波及効果について

(2) 洋上風力発電事業について

4. 農業施策について

(1) 豪雨災害からの復旧状況について

(2) 担い手確保について

(3) 地域計画について

5. 地域みらい遊学について

6. ふるさと納税について
7. 市道の維持管理について
8. 火災発生時などの被災者サポートについて
9. デジタル教科書導入について
10. 学校給食高騰分補助と無償化について

1. 市長就任 1 期目を終え、2 期目を迎えるにあたって

(1) 市長就任 1 期目に蒔いた種について

(2) 行財政改革の必要性和見通しについて

2. 令和 7 年度施政方針について

(1) 若者・女性の地域定着回帰と切れ目のない子育て支援について

(2) 大規模プロジェクトによる関係人口の拡大と地域経済の活性化について

① 市外からの転入者と地域住民が共に生活しやすい社会の構築について

② 移住定住につながる取り組みについて

(3) 市民ひとりひとりが、住み慣れた地域で心豊かに安全安心に暮らせるまちづくりについて

3. 令和 7 年度教育方針について

(1) ゆりほん I C T 子供の学びアップデートプランについて

(2) 由利本荘市教育支援センターについて

(3) 生涯学習・社会教育の推進について

1. 市道倉ノ下線及び市道手代線の付け替え道路の整備について

(1) 現在の進捗状況と今後のスケジュールは

(2) 完成後の管理協議は

(3) 峰越手代奥山林道との結節点からの延長拡幅の考えは

(4) 峰越手代奥山林道結節点から市道百宅線連結の周回道路計画は

2. 鳥海ダム工事現場と宿舎間の移動等について

3. 森林クレジットについて

1. 暴走と迷走の「トランプ関税」地域経済への影響は
2. 市職員の動向と異動について
3. 米価高騰、安心して増産できる体制作るべき
4. 重点支援交付金の活用を
5. クマ対策に改正鳥獣保護法成立、実際の運用は
6. 「建築基準法の改正」と「省エネ基準」への適合義務化による業者への影響は

— . . — . . — . . — . . — . . — . . — . . 5 番 大 友 孝 徳 議員

1. 本荘東小学校区学童保育施設に関する教育委員会の対応について
2. こども未来課の初動について
3. 説明会の遅延について
4. 訴訟リスクについて
5. 新築する場合の工期について
6. 国・県との連携について

3番 栗野希穂 議員

1. 学童クラブへ通うルートの安全対策について
2. 学童クラブ設置に対する市民の声・署名について
3. 市民交流学習センターの既存利用者への配慮について
4. 今後の学童クラブ運営の在り方について

- ## 1. 本荘東小学校区の学童保育について

- ## 2. 洋上風力について

- ### 3. 由利本荘市誕生20周年事業について

_____ . . . _____ . . . _____ . . . _____ . . . _____

1. 「地域の希望、秋田が全国最下位」の調査結果について
2. 成功例の自治体を参考にする人口減少対策について
3. 若い人たちや女性の意識をとらえた人口減少対策を
4. E S G 債を発行しての資金調達について
5. 所信表明の「地域活性化」にある「鳥海山」をキラーコンテンツに位置づけた観光振興策について

1. 本市における地域コミュニティの維持及び形成について

(1) 総合支所だより・公民館だより定期発行の見直しについて

(2) 今後の地域コミュニティの維持及び形成について

2. 懸案事項等に対する市当局の対応について

3. 特別な支援を要する児童の実態把握について

4. 幼保小の連携について

(1) 認定こども園・保育園等と小学校の情報交換の現状について

(2) 架け橋プログラムへの取り組みについて

1. 災害対策について

(1) 個別避難計画の進捗状況と市の取組について

(2) ハザードマップに示された危険地域の避難計画について

(3) 大きな災害時に正しい情報を市民に敏速に伝えるための自治体としての仕組みづくりについて

(4) 自主防災組織の強化と若返り化、コミュニティの維持と再構築について

(5) 災害用備蓄品について

(6) 被災後に対処できる人員の確保について

2. 本荘東小学校区の放課後児童クラブ運営について

(1) 放課後児童健全育成事業目的との整合性について

(2) 地域との関係について

① 地域との情報共有、相互交流の連携について

② 住民の理解を得るための解決策について

(3) 主要国道の渋滞が及ぼす影響について

1. 住民自治と協働のまちづくりに向けて
2. 骨髄移植・末梢血幹細胞移植の推進は
3. R S ウイルス感染症対策は
4. 授乳室に「搾乳できます」の明示を
5. 由利高原鉄道の観光客の利用促進を
6. 高校・大学向け移動期日前投票所の開設は

1. 公共施設等の管理、運営の方針について

(1) 文化交流館「カダーレ」について

- ① 不具合箇所の修繕をどのように計画しているのか
- ② 可動席のメンテナンスを実施すべきではないか、不具合時の損害賠償責任は
- ③ 施設屋内の蛍光灯のＬＥＤ化をどのように計画しているのか

(2) 修繕が必要な箇所について、指定管理者との協議は適宜行われているのか

(3) 東由利道の駅周辺施設について

- ① 指定管理者の応募がなかった要因をどう考えているのか
- ② 直営での運営を続けていく方針なのか
- ③ コスト削減に向けた工夫や研究が必要ではないか

2. 由利橋について

(1) 今般のボルト落下事故について

- ② もう少し早く復旧できなかったのか、復旧プロセスの事後検証は

③ ボルト落下事故の責任はどこにあるのか、瑕疵はないのか

④ 今後の管理計画は

(2) 観光面での最近の活用、今後の活用は

3. 放課後児童クラブ（学童クラブ）について

(1) 本荘東小学校区の学童クラブ設置場所について

① 土地購入や設計段階で、校舎内や敷地内に学童クラブスペースを確保できなかったのか

② 特別教室等の一時的な活用（タイムシェア）はできないのか

③ 本荘東小学校・本荘東中学校との分散設置はできないのか

④ 今後の児童数減少により、校内に学童クラブを移設する可能性はあるのか

(2) 学習センター利用者及び保護者への説明会が遅くなった理由は何か

(3) 校舎内に設置している学童クラブの利用児童には、どのような配慮をしているのか

4. 組織のあり方について

(1) 最近の当局の対応は、真に開かれた市政を推進する「オープン」と言えるのか

(2) 職員同士の連携や信頼関係の構築等、組織力をさらに強化すべきではないか

(3) 早期退職する職員が増えている要因は何か、どの年代や理由が多いのか

(4) 外部ハラスメントから職員を守る対応方針の策定が必要ではないか